

3. 家庭生活について

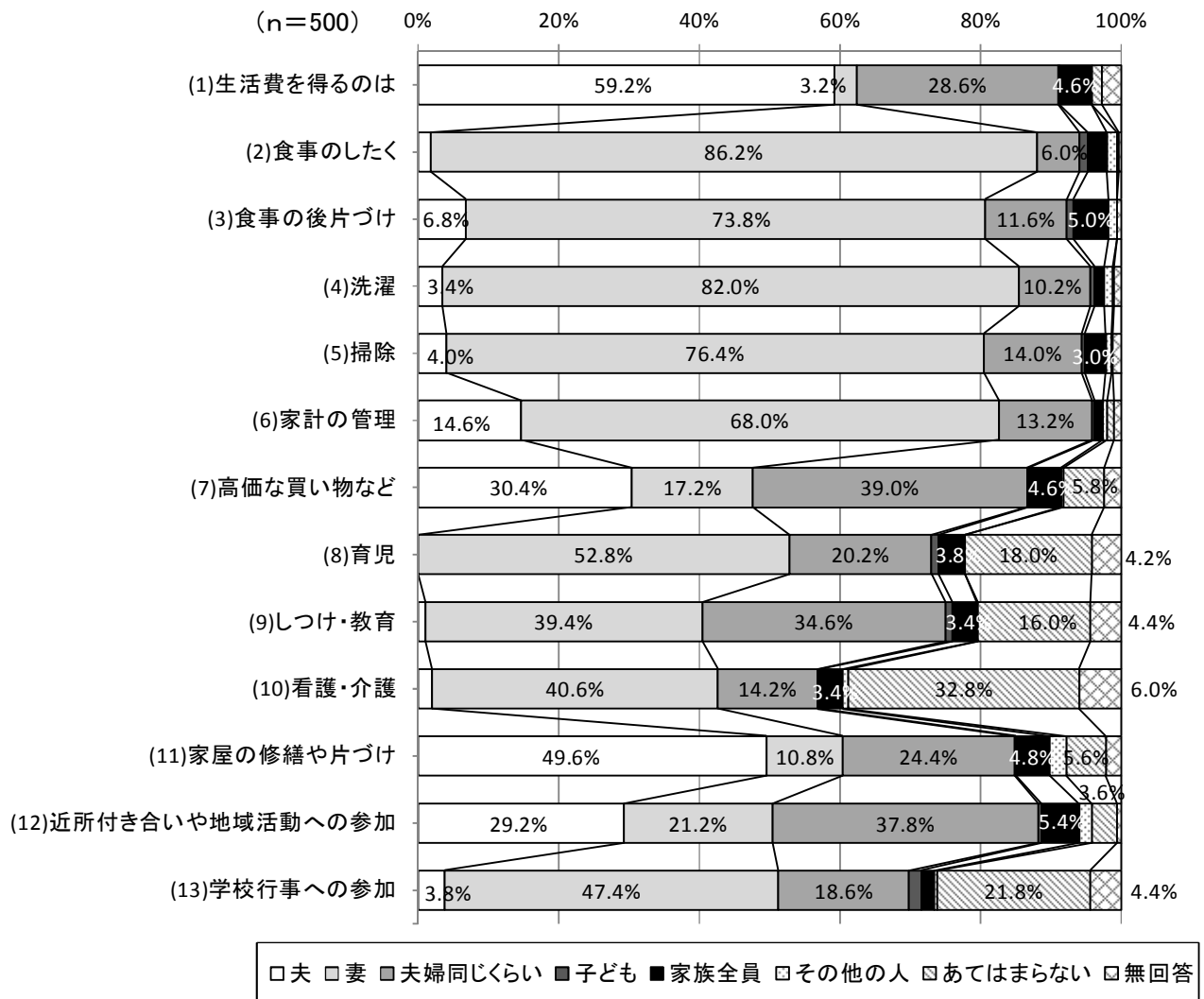
問3. 【現在、結婚（事実婚を含む）されている方に伺います】

あなたの家庭では、次の(1)から(13)について、主にだれが役割を分担していますか。（それぞれ1つに○）

夫の役割としては、「生活費を得るのは（59.2%）」、「家屋の修繕や片づけ（49.6%）」、「高価な買い物など（30.4%）」、「近所付き合いや地域活動への参加（29.2%）」となっています。

妻の役割としては、「食事のしたく（86.2%）」、「洗濯（82.0%）」、「掃除（76.4%）」、「食事の後片づけ（73.8%）」、「家計の管理（68.0%）」、「育児（52.8%）」となっています。

また、夫婦同じくらいという回答が多い項目は、「高価な買い物など（39.0%）」、「近所付き合いや地域活動への参加（37.8%）」、「しつけ・教育（34.6%）」となっています。

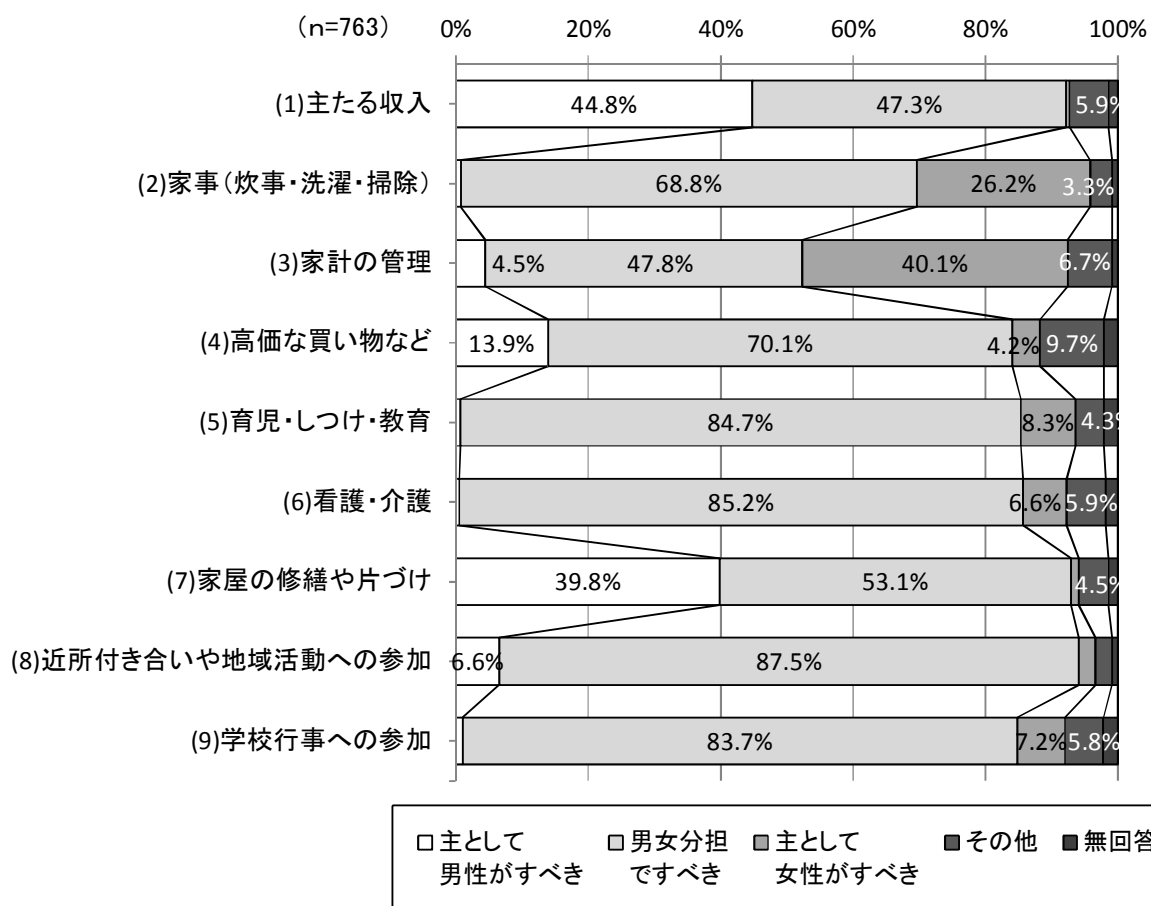


問4. 【全員の方に伺います】

あなたは、次の家庭内の役割について、どのように分担するのが理想だと思いますか。（それぞれ1つに○）

男性の理想的な役割としては、「主たる収入（44.8%）」、「家屋の修繕や片づけ（39.8%）」と回答した方が多く、女性の理想的な役割は、「家計の管理（40.1%）」と回答した方が多くなっています。

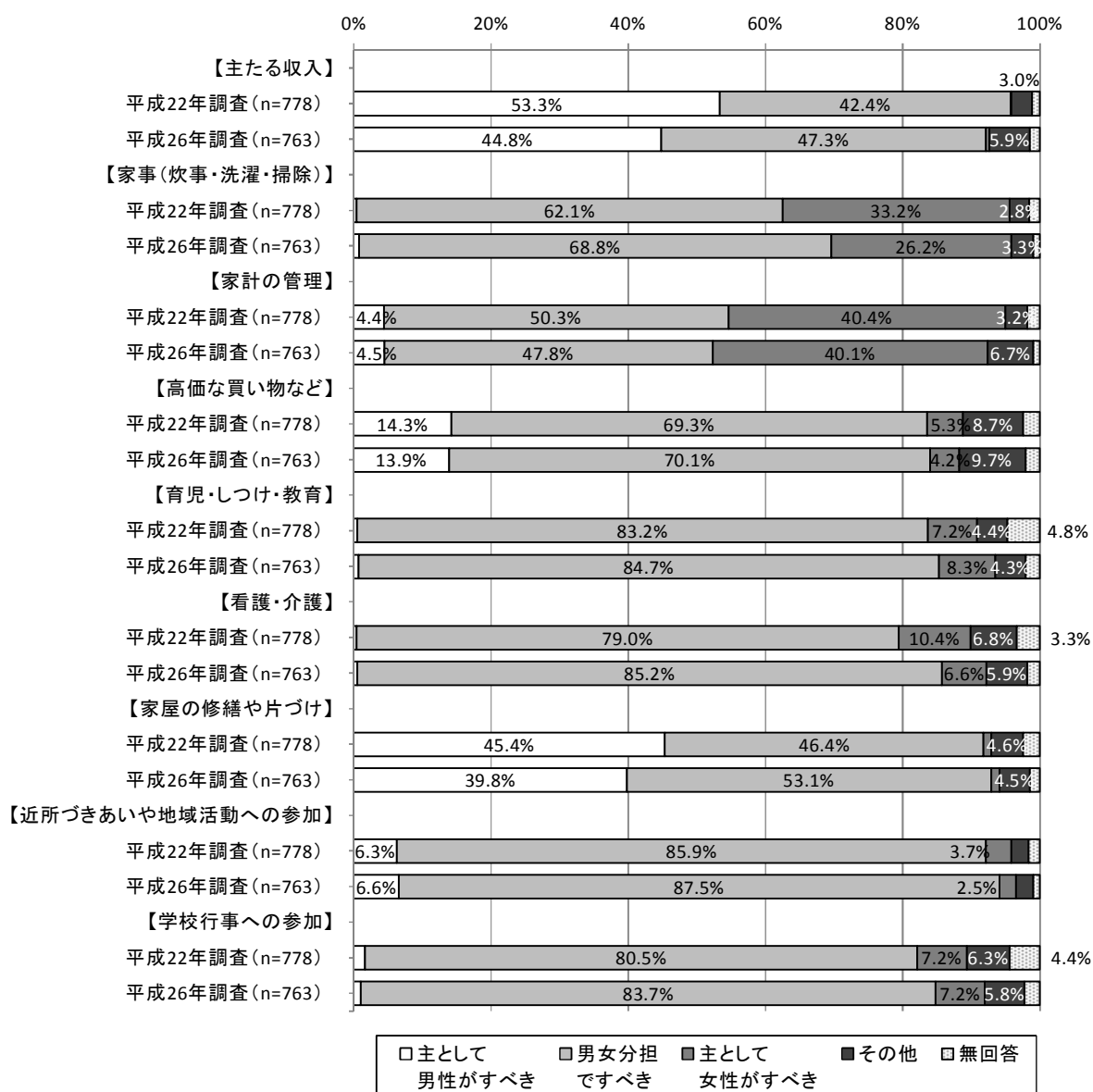
また、全体的には「男女で分担すべき」という回答が多く、中でも8割を超える項目は、「近所づきあいや地域活動への参加（87.5%）」、「看護・介護（85.2%）」、「育児・しつけ・教育（84.7%）」、「学校行事への参加（83.7%）」となっています。



問4. 家庭内の理想的な役割について（前回調査との比較）

前回調査より「主として男性がすべき」の割合が低くなり、「男女分担すべき」の割合が高くなっている項目は、【主たる収入】や【家屋の修繕や片付け】となっています。

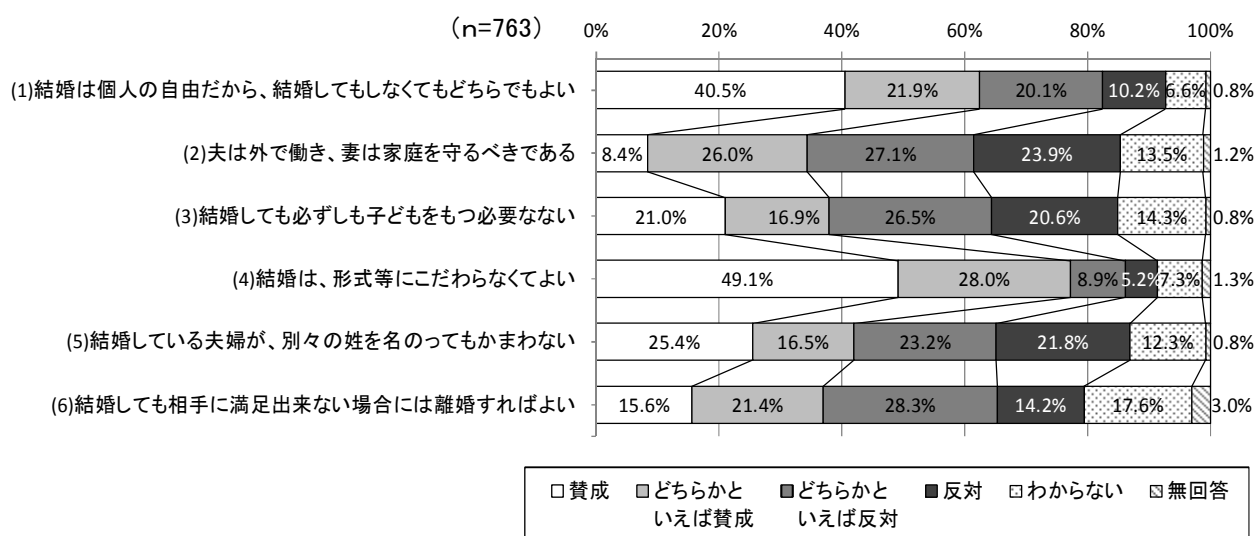
また、「男女分担すべき」の割合が高くなり、「主として女性がすべき」の割合が低くなっている項目は、【家事（炊事・洗濯・掃除）】や【看護・介護】となっています。



問5. あなたは、結婚や家庭観についてどう考えますか。次の（１）～（６）のそれぞれについてあなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ１つに○）

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせて賛成と回答が多い項目は、「結婚は、形式等にこだわらなくてよい（77.1%）」、「結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい（62.4%）」となっています。

また、「反対」、「どちらかといえば反対」を合わせて反対との回答が多い項目は、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである（51.0%）」、「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない（47.1%）」となっています。



<その他の回答>

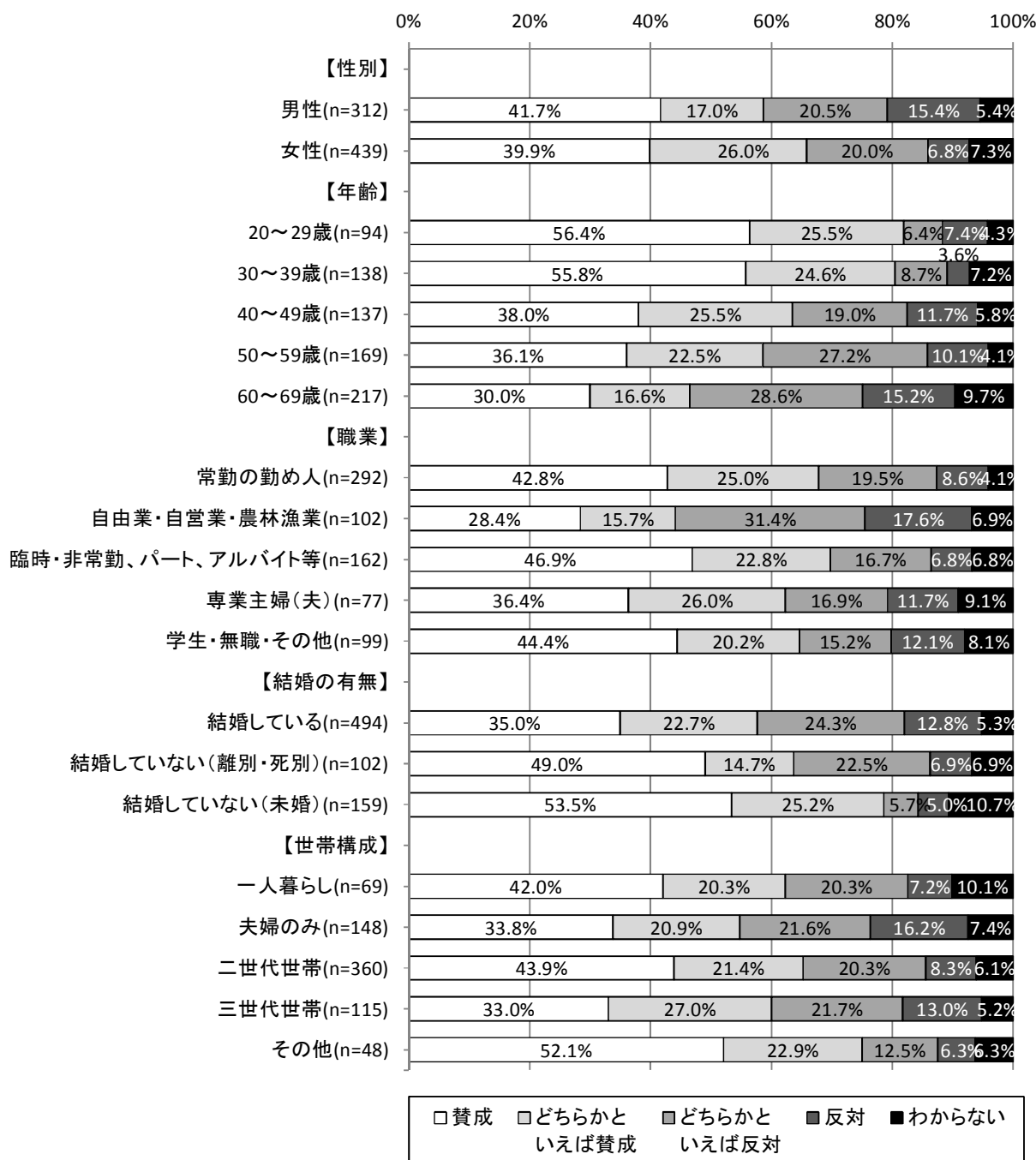
- 人それぞれ環境、立場、考え方が違うので一概に言えない。
- 結婚は両性の合意のみによって成立するものですからどんな形態でも夫婦が一致(合意)してれば問題ない。
- 介護をしているとお金が大変でも働けないのが辛い。どうにか収入が欲しい。
- 女性同士、男性同士の結婚は考えられない。
- 努力が必要。
- 努力してもうまくいかない場合は離婚して新しい人生を考えたほうが良い。
- 私は結婚し、3人の子供が生まれもう10年専業主婦をしているのですが、毎日ただ家の事をやってあつという間に一日、一年が過ぎてしましますが、子供の成長など充分楽しんでいるのですが、最近そういう生活が苦痛だという方に出会い、まだお子さんが6ヶ月なのに働きに出る事を考えていて本当、人それぞれだと改めて感じました。

- (6)について、安易に離婚する夫婦が多すぎる。結婚してから相手に合わせお互いに思いやりを持って成長していくものだと思います。
- 何らかの障害・病気などにより子供がいない場合もある。差別しないこと。
- 沼田は若者のシングルマザーが多い。
- 自由は大切だが、結婚子育てで人として成長していくことの大切さを感じることも必要。
- ケースバイケースなので賛成、反対だけでは決めかねます。
- お互いに良いと思っても長い間にはズレもありますので相手に対して思いやりが大事です。
- (6)の質問は経験していませんので答えられません。満足を求めなければ OK。満足が幸せとは限らないと思いますよ。
- 子供ができるならば社会のために産み育てた方がよい。
- 問 1, 2, 3 について断定的に考える、思考することではないと思う。現在の経済社会の状況の中ではまず経済的な基盤がしっかりしないと 1～3 について難しい。3 は子育て支援の環境づくりが必要と思う。
- そもそもこの質問がバカらしい。
- パートナーを持ち家庭を築くのは動物としてあたり前の事。結婚に至らないのは、適齢期までの生活での、職場環境、家庭、教育など、社会に何らかに問題があるのでは。

問5. 結婚や家庭観

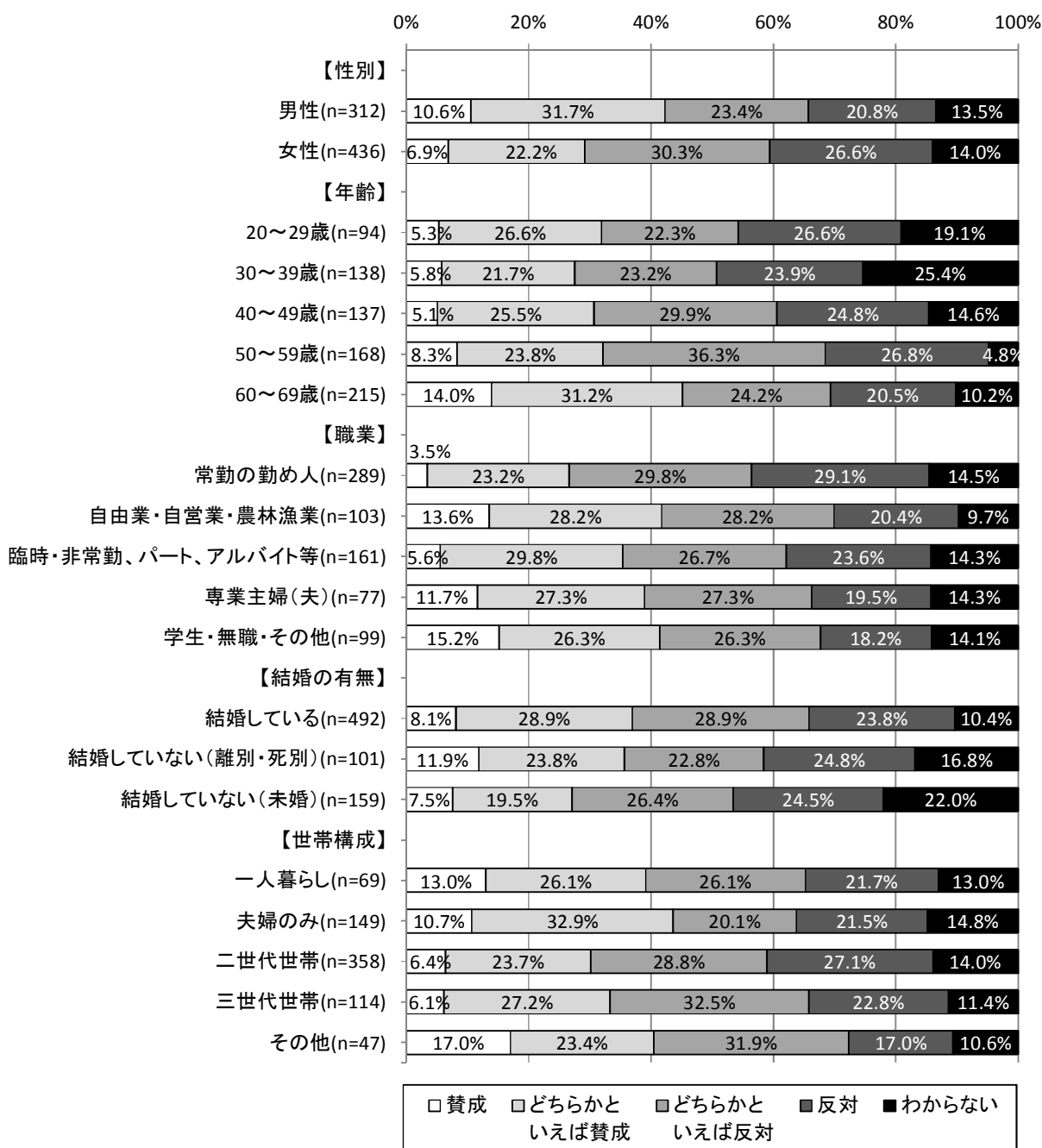
(1) 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい (属性別)

結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよいについて、年代は、年齢が上がるにしたがって「賛成」の割合が低くなっています。また、結婚の有無で結婚している方より結婚していないの方が「賛成」の割合が高くなっています。



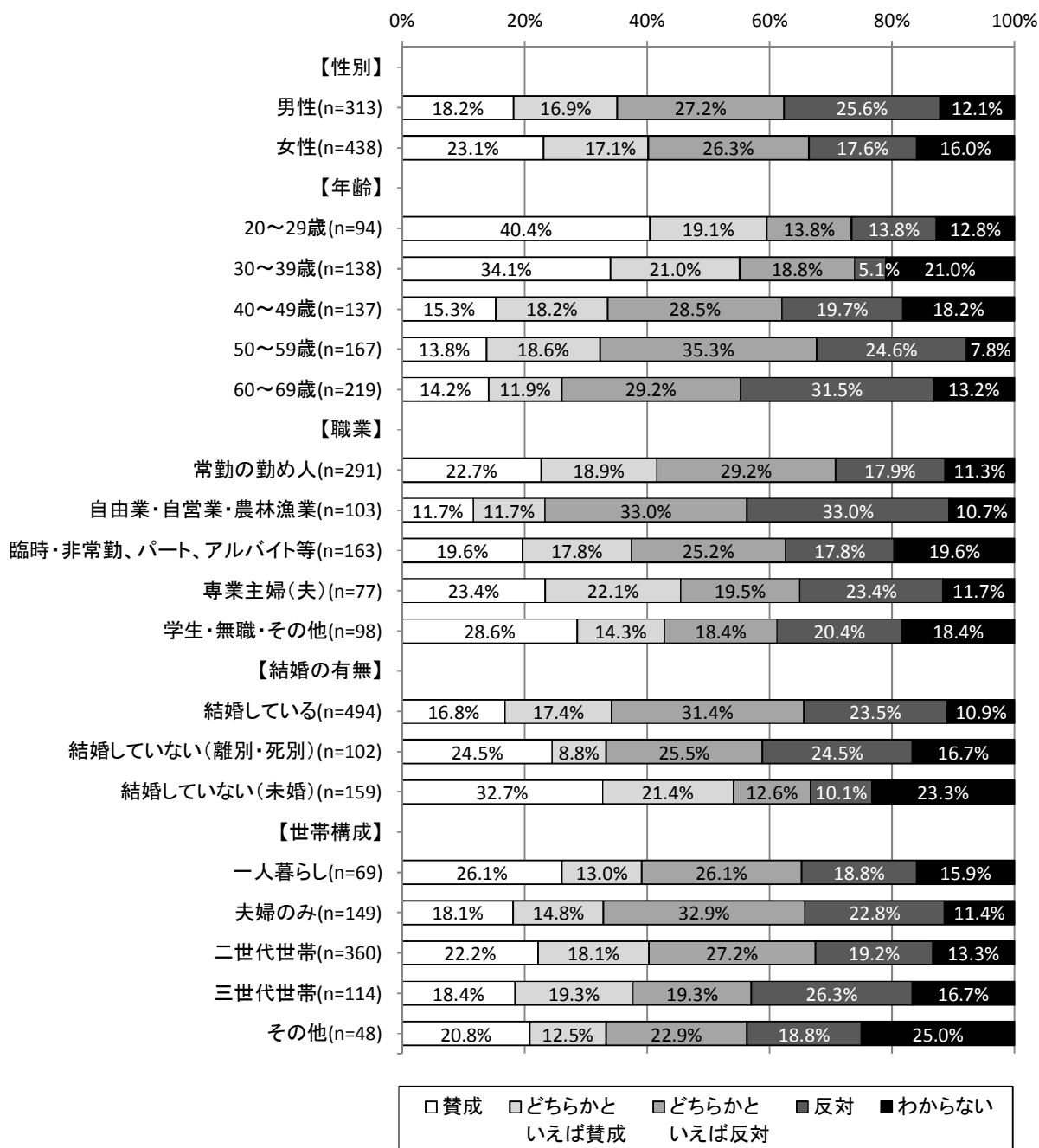
問5. 結婚や家庭観 (2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである (属性別)

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるについては、男性より女性の方が、「どちらかといえば反対」、「反対」の割合が高くなっています。また、年代では、「40～49歳」、「50～59歳」で「どちらかといえば反対」の割合が高く、「60～69歳」では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」の割合が高くなっています。



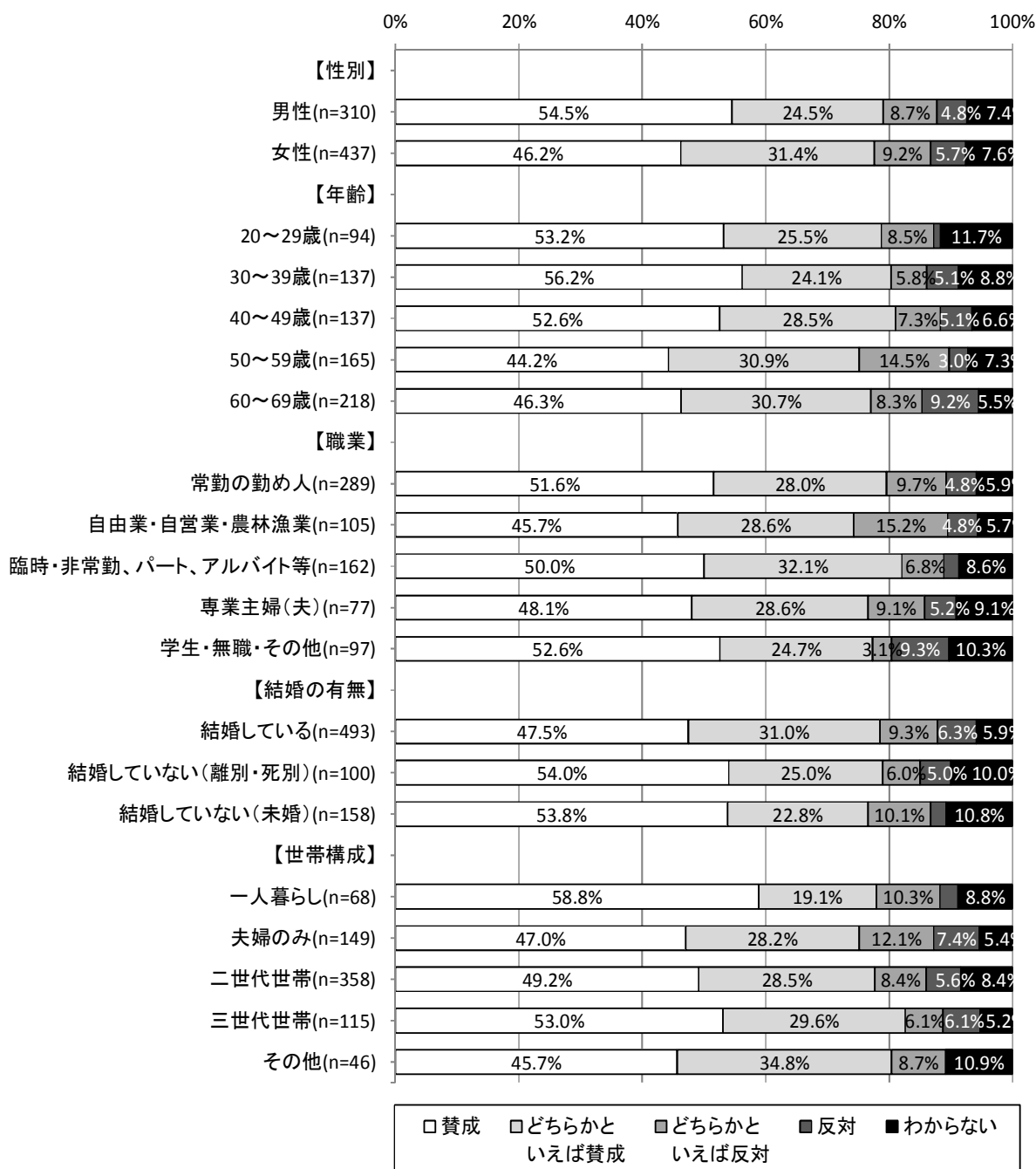
問5. 結婚や家庭観 (3) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない (属性別)

結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はないについては、年代で「20～29 歳」、「30～39 歳」で「賛成」の割合が高くなっています。また、結婚の有無では、結婚していない(未婚)で「賛成」、「どちらかといえば賛成」の割合が高くなっています。



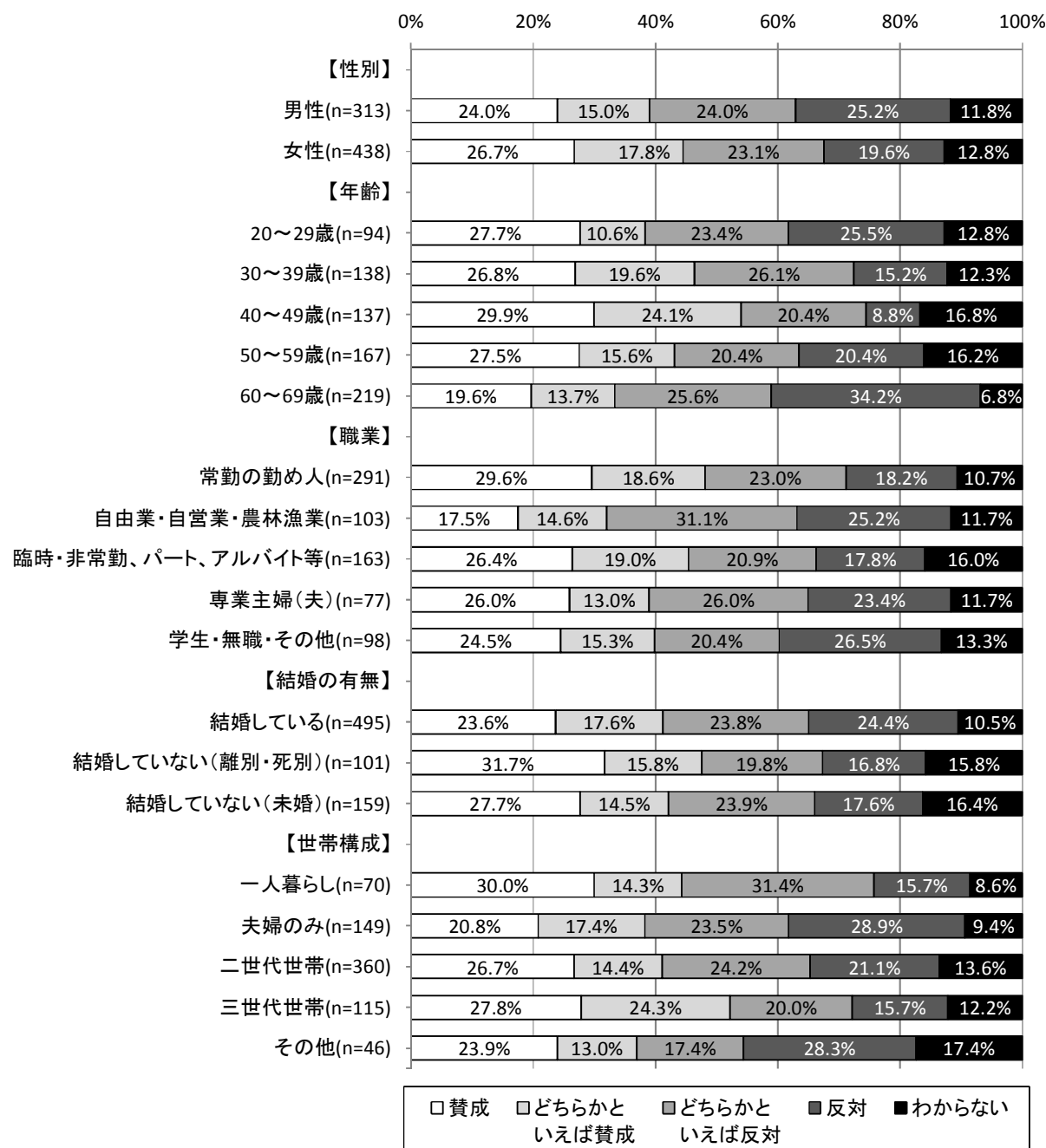
問5. 結婚や家庭観 (4) 結婚は、形式等にこだわらなくてよい (属性別)

結婚は、形式等にこだわらなくてよいについては、女性より男性の方が「賛成」の割合が高くなっています。年代では、50歳未満で「賛成」の割合が5割を超え高くなっています。



問5. 結婚や家庭観 (5) 結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない (属性別)

結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわないについては、男性より女性の方がやや賛成の割合が高くなっています。また、年代では、「40～49歳」で、「賛成」、「どちらかといえば賛成」といえば賛成」の割合が5割を超え高くなっています。



問5. 結婚や家庭観 (6) 結婚しても相手に満足出来ない場合には離婚すればよい (属性別)

結婚しても相手に満足出来ない場合には離婚すればよいについては、結婚の有無で結婚している方で、「どちらかといえば反対」、「反対」の割合が高くなっています。

